

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子供

# 干布小学校だより

学力号 R2. 2. 25  
天童市立干布小学校  
校長 三好 義宏

## 学習の成果は上々 生活習慣に若干の課題あり 全国学力・学習状況調査結果報告

4月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。本校の学力の状況は、全ての教科と領域において全国・県平均を大きく上回るものもありました。

### 【学力の状況について】

平均正答率（％）

	国語	算数
全国平均	63.8	66.6
山形県平均	66	65
本校平均	◎	○



※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある

県教育委員会の指示により、本校平均の数値は公表しません。実施の目的は、「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる」であり、本校での今後の授業改善に役立てていきます。本調査から明らかになった6年生の特徴的な傾向と、5年生の山形県学力等調査の結果も含めて、学校全体の傾向を表すものとして指導していきます。本校の6年生の特徴的な傾向は次の通りです。

### 【よかったところ】

#### 【国語】

- ◎ 話している相手の意図を捉えながら聞き、自分の考えとしてまとめていくこと。
- ◎ 目的に応じて、文章を読み取ること。（文章の内容を的確に押さえて自分の考えを明確にしながらか読むこと・本や文章全体を大まかに捉えながら効果的に読むこと）
- ◎ ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること。

#### 【算数】

- ◎ 2つの棒グラフを比べ、水の使用量が何倍になるかを読み取ること。
- ◎ 示された減法に関する性質を基にして、計算の仕方を自分なりに捉え、別の計算の方法を考えること。

### 【課題となるところ】

#### 【国語】

- △ 事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単もしくは詳しく書くこと。
- △ 学年で習う漢字を、文章の中で正しく使うこと。（調査のたいしょう・かんしんをもってもらいたい）

#### 【算数】

- △ 二つの合同な図形の性質や構成要素に着目し、他の図形をつくること。
- △ 示された計算の式を生かしてわり算を適用したり、わり算の性質を基にして計算に適用すること。
- △ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方を自分なりに説明できること。

【学習や生活の状況について】 児童質問紙による学習や生活状況の調査の結果（抜粋）です。

No.	質問事項	本校 (昨年)	山形県 (%)	全国 (%)	備 考
①	朝食を毎日食べていますか。	○ (◎)	88.9	86.7	「食べている」「どちらかといえば食べている」の割合
②	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	◎ (◎)	81.4	81.4	「同じくらいの時刻に寝る」「どちらかといえば同じ」の割合
③	地域の行事に参加していますか。	◎ (◎)	85.7	68.0	「参加している」「どちらかといえば参加」の割合
④	読書は好きですか。	△ —	78.7	75.0	「好き」「どちらかといえば好き」の割合
⑤	1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか。(月～金)	△ (◎)	42.6	39.8	30分以上の割合
⑥	授業時間以外に、普段(月～金)一日当たりどれくらい勉強しますか。	△ (○)	11.8	29.3	「3時以上」「2～3時間」の割合
⑦	学校の授業の予習・復習をしていますか。	◎ (◎)	78.0	71.5	「している」「どちらかといえばしている」の割合
⑧	学校に行くのは楽しいと思えますか。	◎ —	85.5	85.8	「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の割合
⑨	自分には、よいところがあると思えますか。	◎ (◎)	83.5	81.2	「ある」「どちらかというところある」の割合
⑩	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	◎ (◎)	49.8	43.1	「当てはまる」の割合
⑪	将来の夢や目標を持っている。	△ (○)	66.2	65.9	「持っている」の割合
⑫	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	○ (▲)	85.4	85.0	「いけないと思う」の割合
⑬	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話すことがありますか。	◎ —	77.7	77.4	「よく話す」「時々話す」の割合

※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある —：項目なし・新設等

算数と国語に直接関わる設問も多数あるのですが、保護者の皆様と考えていきたい設問をピックアップしました。習慣として大切にしたい、生活習慣・読書習慣・家庭学習習慣も含めて紹介します。また、自己肯定感・有用感等に係る設問も取り上げてみました。

①の朝食習慣は、数字としては悪くないのですが、食べていない人が微増でした。②の同じ時刻に寝る設問は、早寝を善しとする設問ではないので、寝る時刻の実態ではないことに注意です。③の地域行事参加は、さすが干布の子供たちで、地域に安心して出かけられる環境が整っていることが分かります。読書の設問では、読書への関心。取組ともに改善の余地があるようです。学習の設問では、家庭学習をしていないわけではなく、決められた学習を短時間しかしない実態が浮かび上がりました。子供たちは、温かい家庭や人間関係の中で、真っすぐに育っている結果に、干布小のよさが表れていました。

